



# 目次

- 1、これまでの振り返り
- 2、コンセプト
- 3、校舎の利用例（ハード）
- 4、事業の体制（ソフト）
- 5、まとめ

## 振り返り

# 弥生WGこれまでの振り返り

---

R7.1.26 キックオフ

参加者230人

4.26 高校ツアーと地形から

講師 下島典子さん、政金裕太さん、氏原睦子さん 参加者70人

8.24 スポーツを核とした可能性

講師 坂口 淳さん、安井 隆さん、北原俊文さん 参加者50人

10.12 学びの新しい当たり前とは

講師 松本順子さん、竹内延彦さん

参加者70人

R8.1.18 僕らを作るパブリック

講師 土肥潤也さん

参加者60人

2.7 事業アイデアプレゼン大会

15組からの事業アイデアプレゼン

参加者90人

**延参加人数570人**

振り返り

# 事業アイデアプレゼン大会でのまとめ

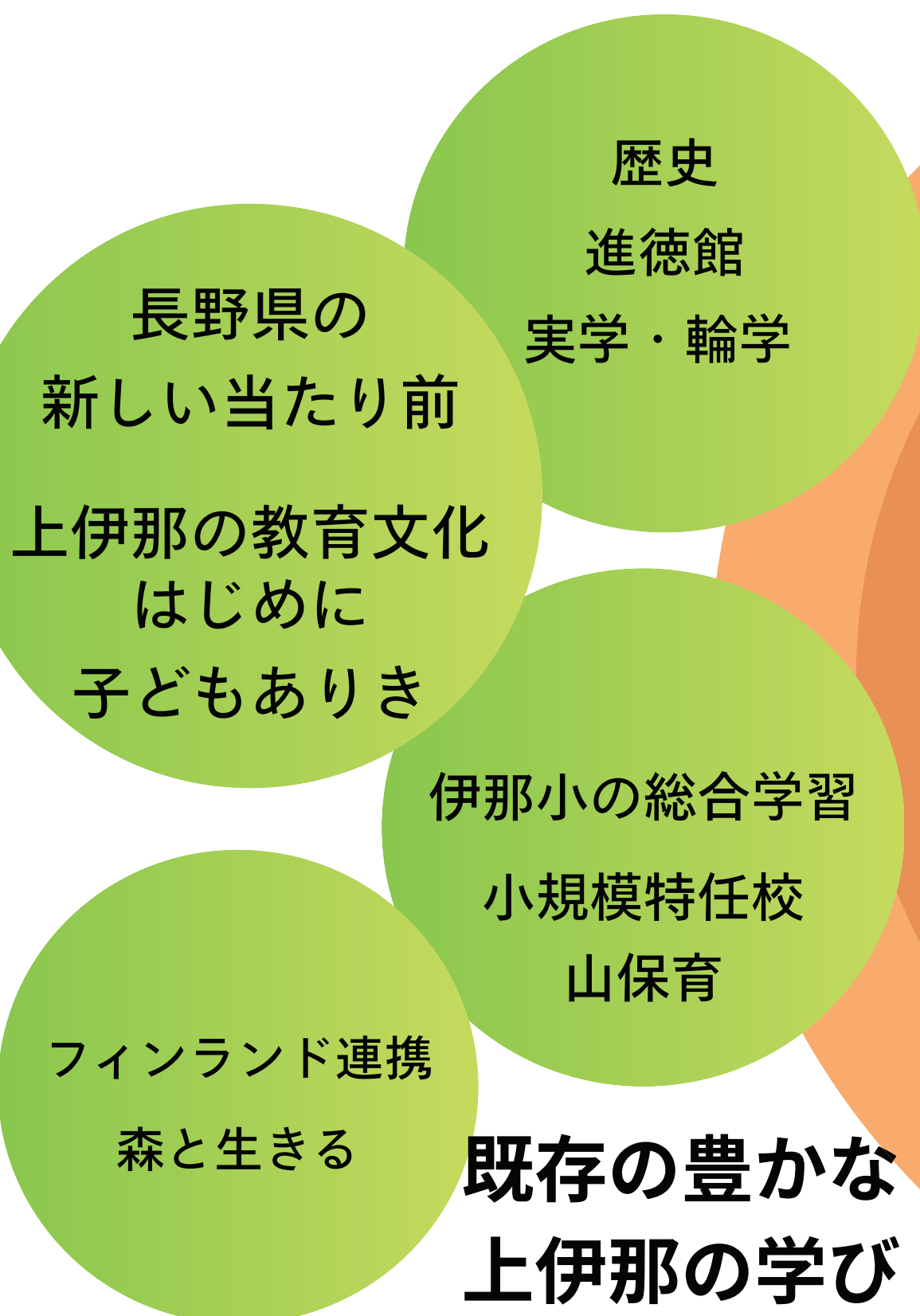


別案  
伊那小学校にする

<https://youtu.be/b8eryLJzXEk>

## コンセプト

上伊那を生涯にわたり本質的な学び  
を体験できる学びのメッカへ



本質的な学びとは何か？  
を追求し続ける場所

実践  
探求  
発信

多様性を真ん中に  
学び方・感覚  
特性・生き方  
体験・遊び

仕組みづくり  
学校教育？  
生涯学習？

学校現場の負担  
教師のサポート

課題

目指す姿

学びのメッカに  
上伊那の学びの下支え  
新しい当たりまえを  
具現化

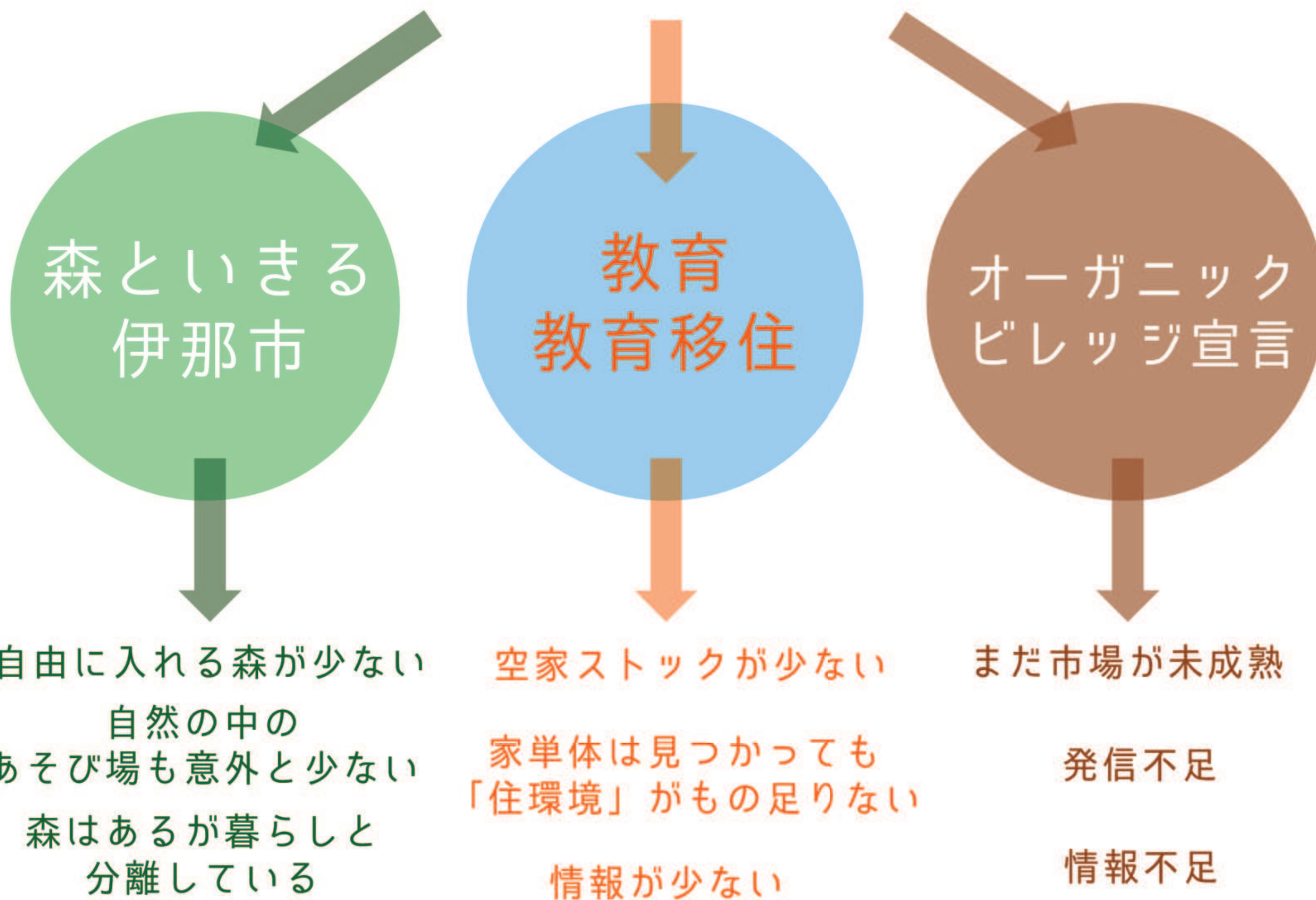
不登校・居場所  
通信制高校  
ハミング  
ネイチャーセンター  
森と学び

生涯にわたる学び  
を通じて  
「生きる」を支える

場所不足

## コンセプト

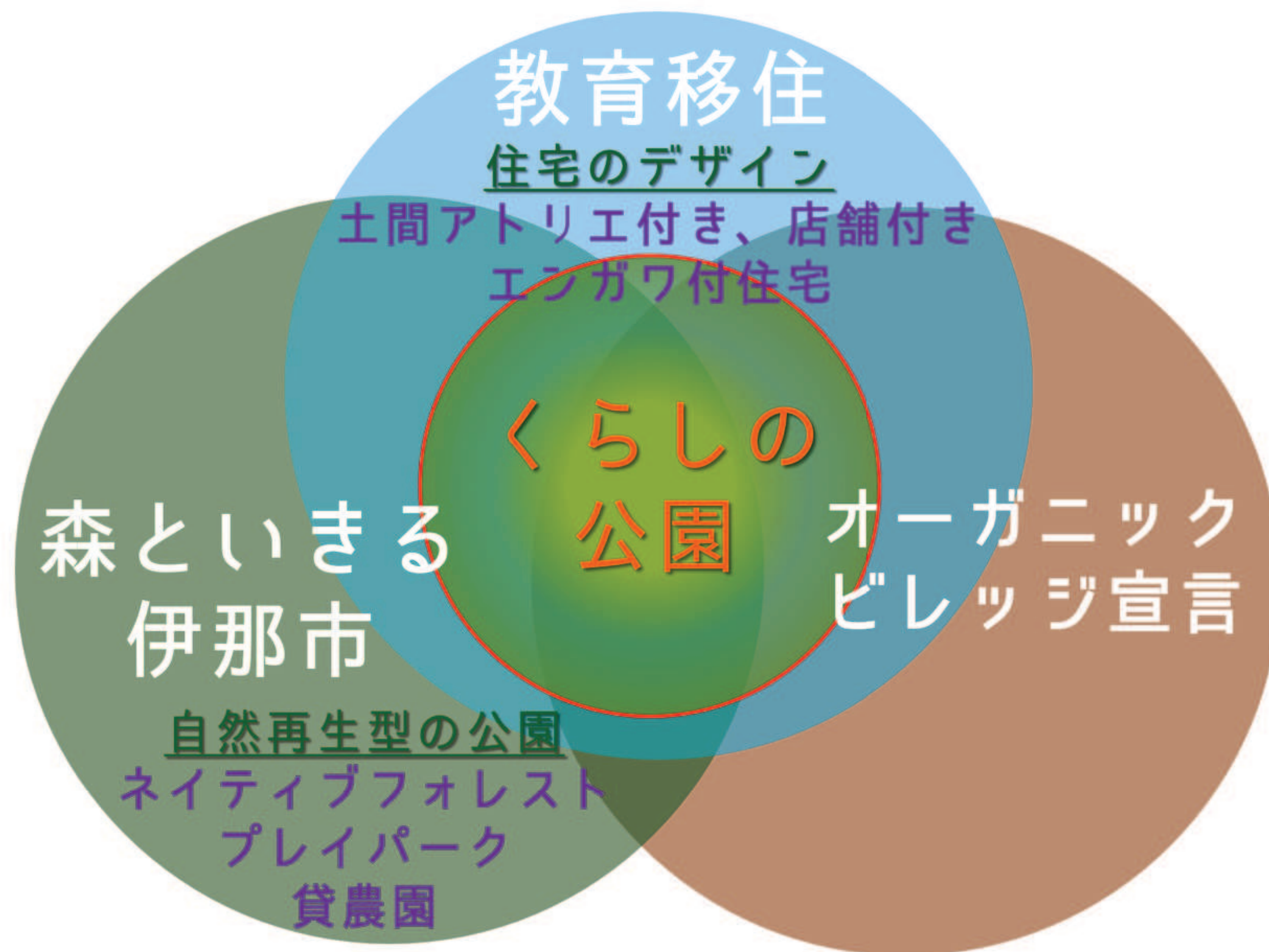
伊那市が既に持っている価値、魅力



## コンセプト

今はバラバラなこの3つの伊那の価値を  
「一つの場所に目に見えるカタチで統合し顕現」させ  
価値を昇華していく

## 「くらしの公園」



ハード

# 恵まれた周辺環境



ハード

# 多様な担い手が集う場

備蓄、フードバンク倉庫

イベントで利用

展示

大学

起業

障害者施設

企業



## 校舎棟1の利用例

3F			あとでやる	もしくは	やらない		倉庫
2F	ハミング	ハミング	ハミング	ハミング	ハミング	ハミング	ハミング
1F	事務所	事務所	事務所	事務所	共用部	共用部	共用部

多様なコンテンツ

交流できる共用部

発表

※基本インフラ（給排水、電源）の許容範囲のみで利用する

## 校舎棟2の利用例

4F							
3F		暖かく楽しく暮らせる		あとでやる	もしくは	やらない	倉庫
2F	住居	住居	住居	住居	住居	住居	住居
1F	事務所	事務所	アート	アート	アート	共用部	共用部

多様なコンテンツ

交流できる共用部

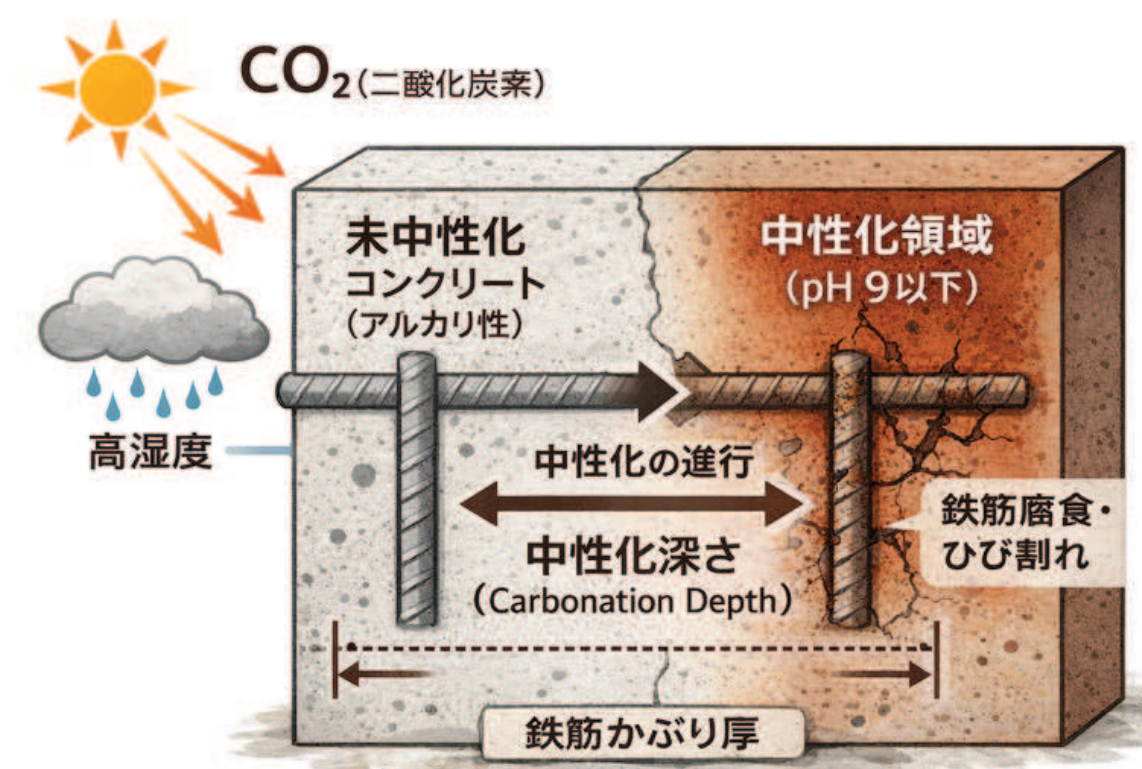
※基本インフラ（給排水、電源）の許容範囲のみで利用する

ハード

## 校舎の寿命

耐震改修してあっても経年劣化は止まらない  
建物の寿命は60年から80年  
すでに寿命の後半に差し掛かっている

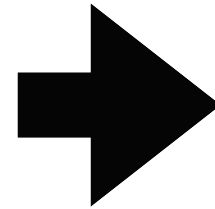
つまり あと使えても20年から30年!



※コンクリートの中性化

ハード

## 地域に開かれた空間に



少なくとも  
ここまでは長野県がやって欲しい

## 施設利用の条件

### だから

長野県からは無償もしくは安価にお借りして  
20年から30年使ったらお返しするのが良いのでは？

### 県との交渉内容

- ・ 運営はみんなのでやるので（ほぼ）無償で貸して欲しい
- ・ 不要施設は事前に解体していただき  
（いずれやることの前倒し）

### 課題

- ・ 共用部の整備費（駐車場、キャノピー）

ソフト

# 多様な事業オーナー



ソフト

## 多様な学びの担い手



# すべての子ども・若者が自分の人生を生きられるために

若者が集い・学び・悩み・成長した「学び舎」を  
 すべての人々が大切にされ、安心して成長できる

【地域と学び】のシンボルに



NPO法人子ども・若者サポートはみんぐ

理事会

事務局

相談・コーディネーター

小中支援

事業内容

- ・居場所「オルタ」
  - ・スポーツ(伊那)
  - ・森カフェ(駒ヶ根)
  - ・みなみい〜ね
  - ・学習支援
  - ・親の会
- スタッフ:13人

さくら国際高等学校  
伊那キャンパス

事業内容

- ・通信制高等学校
- ・高校卒業資格取得
- ・他地域学習センター
- ・スクーリング受入れ

スタッフ:29人

若者支援

事業内容

- ・居場所「おるら」
- ・親の会
- ・相談

スタッフ:4人

ネットワーク構築

事業内容

- ・研修会
- ・講演会講師派遣
- ・他団体連携

スタッフ:2人



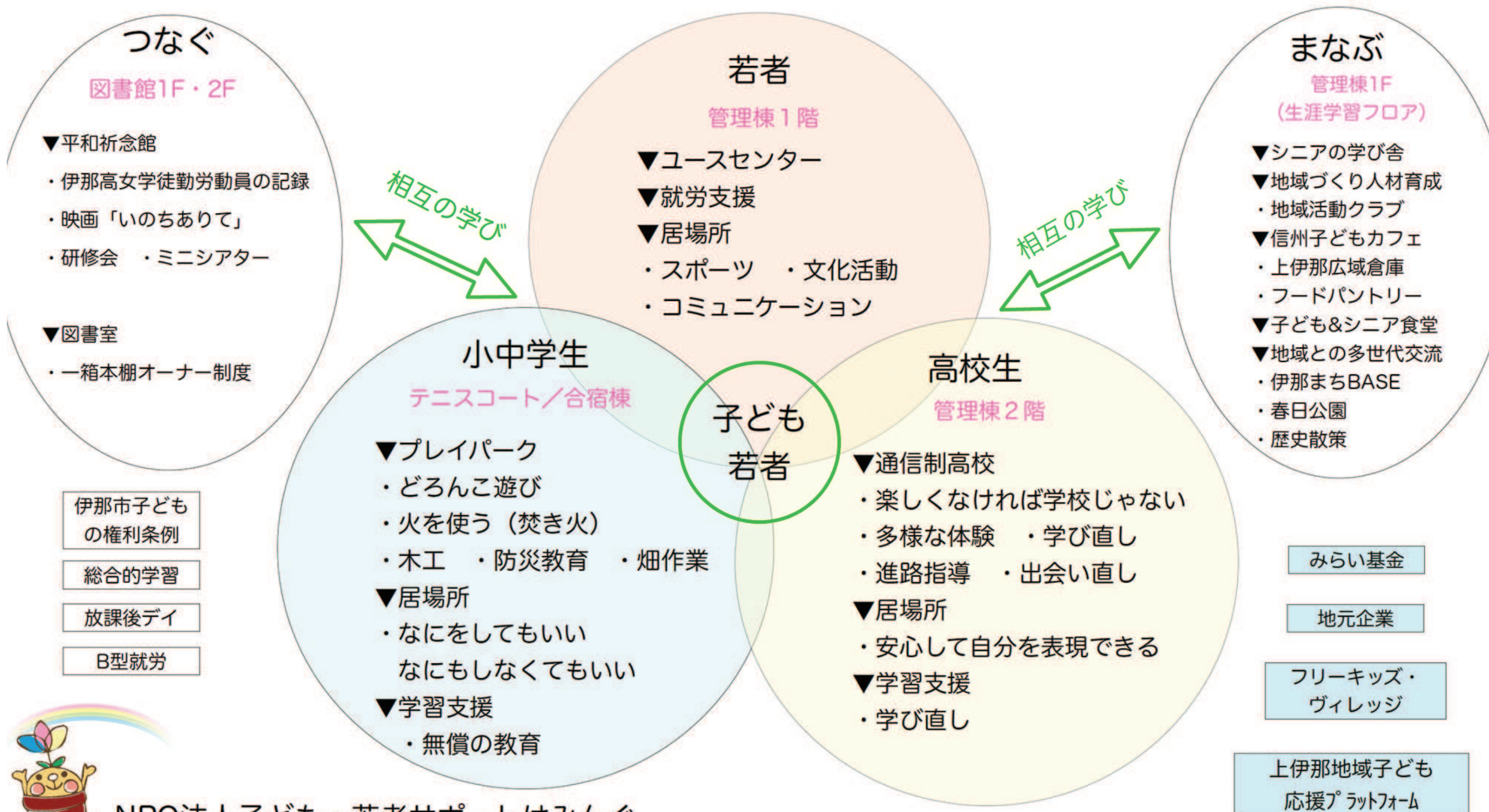
▲小中学生の居場所オルタ(信州型フリースクール認証)



▲スポーツの居場所



# ソフト



- 伊那市子どもの権利条例
- 総合的学習
- 放課後デイ
- B型就労

- みらい基金
- 地元企業
- フリーキッズ・ヴィレッジ

上伊那地域子ども  
応援プラットフォーム



NPO法人子ども・若者サポートはみんぐ

ソフト

## ネイチャーセンターをつくろう



学校内外、多世代が共に学び、体験や経験を共有する  
「ごちゃまぜのラーニングセンター」

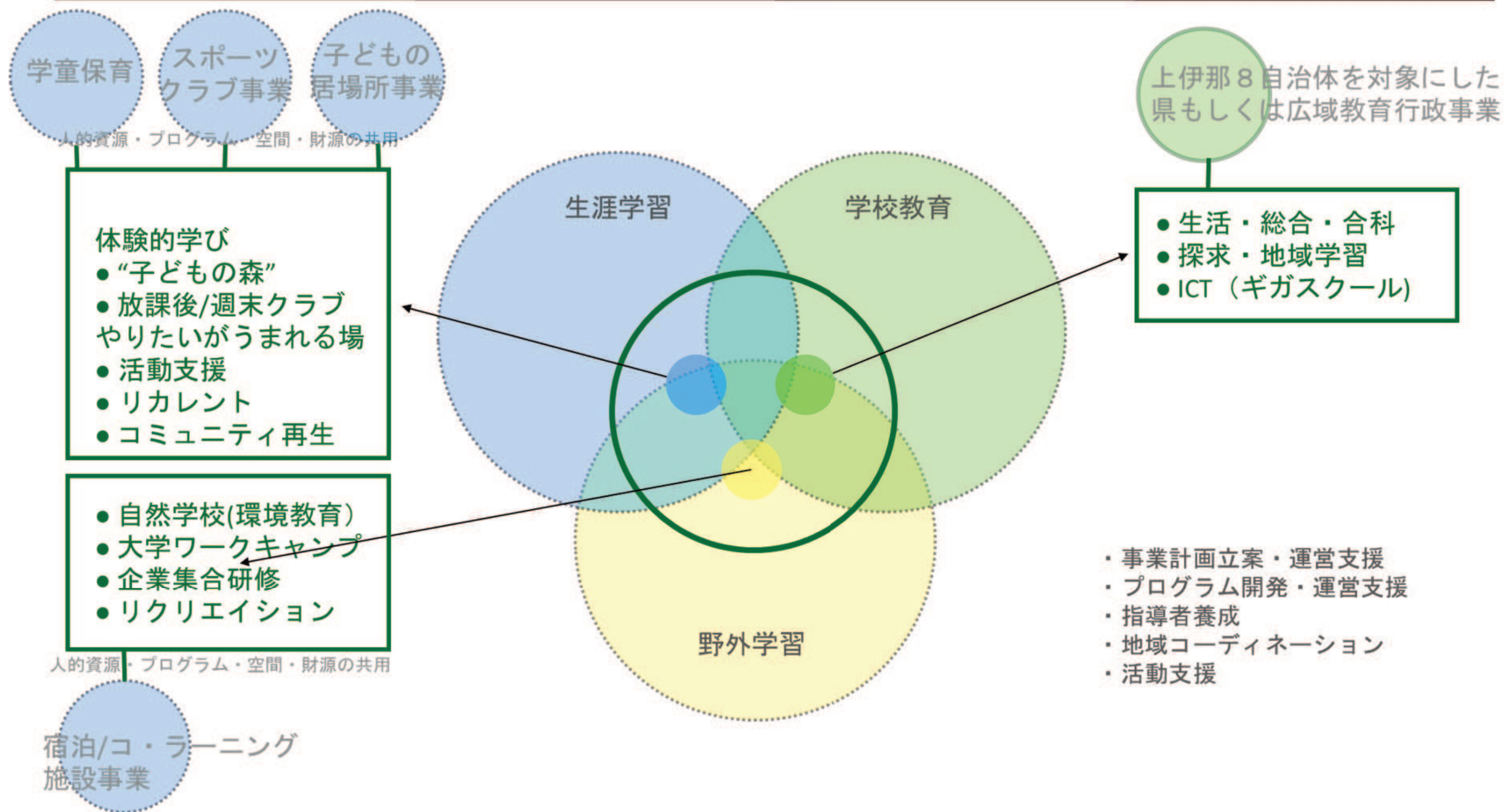


## ネイチャーセンターの担い手

「体験的な学び」を核に  
人・組織（自治体）・財源をつなぐ公民連携事業

## 伊那谷ネイチャー・センター(仮称)

学校教育/生涯学習支援センター事業・野外学習事業



ソフト

現場が生まれる場



アートの担い手



ソフト

## スポーツの担い手



ソフト



音楽・食・その他の担い手

まだまだたくさん可能性がある



まとめ

# 事業の体制

ハード  
資産管理

ソフト  
寄付集め  
営業活動  
イベント  
運営会議  
不動産事業

**SPC (特別目的会社)**  
事業オーナー、市、県からなる事業体  
賃貸管理を主に行う。

**地域カンパニー**  
独自事業  
イベント企画  
資金集め (寄付・伊那市魅力を発掘・営業)

**運営会議**  
(皆で皆のことを考える)  
知恵・アイデア・人材・資源がめぐる



ネイチャーセンター

子ども若者支援

アート

スポーツ

事業オーナー

シェアオフィス

スタートアップ支援

事業オーナー

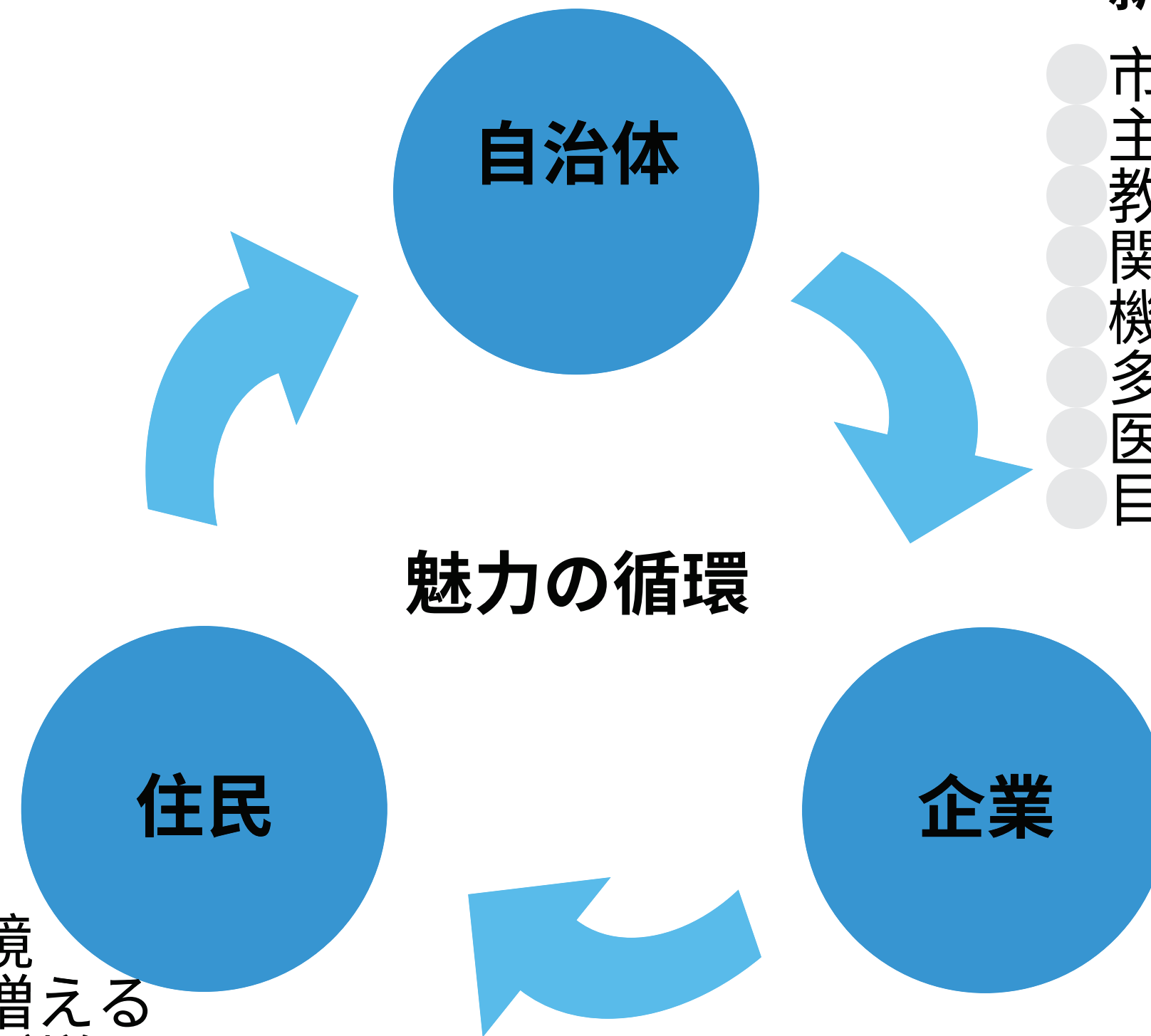
and moer

## まとめ

### それぞれのメリット

#### 生涯にわたる学びの場

- 生涯にわたる学びの環境
- こども若者の居場所が増える
- 若者が地域に残る理由が増える
- 教え合う文化が生まれる
- 自然と共生する地域文化



#### 魅力的な循環

#### 「森といきる伊那市」 「新しい当たり前」の具現化

- 市民のウェルビーイング
- 主体的人材の育成
- 教育ブランドの確立
- 関係人口の増加
- 機能集約による維持費の効率化
- 多様な学びの実現
- 医療費削減
- 目的型ふるさと納税の創設

#### 地域企業のブランディング

- 主体的人材のプール
- 人材循環
- 住みたくなる地域

赤ちゃんから幼児  
学校・放課後・休日・部活動  
中学・高校・大学生も  
学校行っても、行ってもなくても  
大人になっても  
学びなおし  
歳をとってからも  
ずっと学び続けられる

雨の日も遊びに行けて、アート、スポーツ、木工、音楽、  
料理、ピザ、サウナ、薪ストーブ、読書、働く体験も  
みんなでおしえて、みんなでまなぶ。  
そんな生きると学ぶがぎゅっと詰まったところ  
弥生ヴィレッチ

運営する事業者の間で、  
知恵・アイデア・人・資源がめぐる。

事業者同士の連携が人を育む  
事業者が成長し、地域へ広がる  
学びの場利用者が事業者へと育っていく

起業支援、企業、大学、事業者、利用者の中に  
そんな循環が生まれ、  
地域が良くなり続けるエコシステムとなる

人が有機的につながり、関わり、育ち、次の担い手になる  
その循環が、伊那、上伊那、長野県へとひろがっていく  
エコシステムがここから始まる



**ご清聴ありがとうございました**